



E・Sさんの作品

夏休みのお弁当を

つくりながら考えた事

（報酬改定）

7月の終わりから学校が夏休みに入り、小学2年の娘は毎日学童に通うため、私は毎朝苦手なお弁当をつかっていました。『苦手』イメージから抜け出すために、冷やし中華、いろいろ海苔巻き、おにぎりとおかず、お弁当のパターンを決めて、娘が選んだパターンの弁当をロボットの様に作り送り出す毎日。（私は、家で食べられないカップラーメンをお昼にこっそり…）

2学期が始まり、学校や給食、学童のありがたみをかみしめながら、『あたりまえ』に受けていることほど、その裏でたくさんの方が支えてくれている事、感謝する事を忘れずに在りたいと改めて思う夏のおわりです。

さて、3年に一度行われる報酬改定ですが、障害福祉サービスの通所系事業所における食事提供を巡っては、何年か前の報酬改定から『食事提供体制加算の見直し』と称した加算の廃止が論点になっていました。

今回、令和6年度の報酬改定では、栄養士等による献立のチェックや体重やBMIの把握、記録を取ることなどを要件に『食事提供体制加算』は3年間延長となりました。

様々な嗜好や健康状態、身体機能に応じた食事提供をするというのは簡単ではなく、外部委託する事業所も増えている印象です。

多様な食事提供のニーズがある一方、成人した人への給食という一律提供の考え方に対して賛否もありますが、この食事提供体制加算がなくなったら、事業所が提携するお弁当業者から注文するか、利用者が食事を持参することになるだろうと思います。毎日の事ですから、経済的な負担も気になるとことです。

かいゆうの事業所でも、くじら工房やグループホームで食事づくりをしてくださるスタッフに支えられています。安全でおいしくて栄養のある食事。心がげんきになる食事。旬の食材を使ったり、リクエストメニューなど、あれこれ工夫をしてくれています。

私の手抜き弁当はさておき、「いただきます」と「ごちそうさま」を大切にしながら、「食事提供体制加算」のその後も追いかけていきます。（理事長 池田希咲）

~この人に聞く番外編~
この人たちに聞く
後編

対談形式のインタビューとして、新旧理事長にお話を聞きに行きました！

前号の続きです♪

2024.4.25 国立市内某所にて
(インタビュアー 小野)



★用務員理事長としてやってきた理事長が交代をすると決めたきっかけは？

遠藤：最初からつなぎの理事長と思ってやってきた。高齢化の中、言ってみれば第1世代。組織体としてはもう世代交代の時期。福祉の視点も変えていく必要がある。他法人がぱっと交代したのを見て、これだ！と思ったがなかなかうまくいかず、どうしたものか…とっていた時に、池田さんが声を上げてくれた。ラッキーだった。若い人たち、新しい人たちでかいゆうを1つにして欲しい。それが願い。

ボランティアから始めていますし、まだしばらくは関わっていくつもりでいます。

池田：一步ハウスでの宿直ボランティアから始めて、2006年に開設したくじら工場の立上げから約10年働いたかいゆうを一度離れ、再び関わるようになって、もうすぐ満4年。その中で、少しずつ今のかいゆうを学び直した。遠藤さんとは同じ『地域福祉』に携わり、かいゆう以外でも関わりがあり、いろいろ話す中で、理事長やろう。と思った。簡単に決めたわけではないですが、覚悟したというか、、、

★モヤモヤしたり辛くなった時に。

池田：私も、この仕事を続けていく自信を失いかけるような出来事をたくさん経験しました。でも、そんな時、当時の工場のメンバーやご家族、ボランティアさん、くじら雲やかいゆうにとどまらない福祉や地域の同僚や先輩、、、本当に多くの人に助け、育ててもらって今がある。本当に感謝しかないです。最近、昔の「ヘルパーミーティング」みたいな場の復活を考えています。学習会みたいなのをきっかけにしたら集まりやすいのかな？あでもないこうでもないって、わーわーギャーギャー言える場は大事なんじゃないかな。自分の支援を振り返ったり、気持ちや考えを言葉にして、フラットに伝えあったり、支援を語る場。

遠藤：「ヘルパーミーティング」みたいに、言語化するのは大事。色んな話を聞いてヒントをもらってこうしてみようああしてみようが出てくる。理事長カフェでもいいけど。

池田：何か考えて、まずはやってみようと思います。元企画室ですから(^^) 広報さんに手伝ってもらって。

「インタビュアーより対談を終えて...」

今回は理事長交代、バトンを繋げた記念として、かいゆうだよりは特集を組む事になりました。多忙なお二人ですが快く対談という企画に乗ってくださいました。感謝いたします。

かいゆうは今、予算も人手もありません、崖っぷちぎりぎりの状態です。

理事長なのに、事務？総務も？組織運営部長兼理事長となる新理事長、応援団もやっている旧理事長。

二人の思いを乗せてかいゆうは新たに出航しました。

法人としての体力(資金、経営)、己(心含め)の体力、体力つけてどんどん健康になって行かねば。

「断らないかいゆう。」カムバックへ向けて…

ミラハウス

3月に入職しました、鈴木祐美です。以前は認知症の方のグループホームや障がいのある方の通所施設に勤めておりました。

今までの支援とはまた違い、学びの多い毎日ですが、利用者の皆さんと過ごす時間がとても楽しいです！

皆さん、ひとりひとりの気持ちに寄り添いながら支援させて頂きたいと思っております。よろしくお願い致します！（鈴木）

とれいる

とれいる片岡です。昨年12月から仕事を始め、現在は常勤アルバイトとして勤務しています。

趣味はゲーム、漫画、ドラマ、映画という完全なインドア人間です。自分でもたまに漫画を描きます。一番好きな漫画家は高田裕三先生です。学生時代に毎週ヤンマガを読んでアシスタントを目指してたくらい好きでした。藤原カムイや江川達也、藤島康介などにも影響を受けています。

最近、子供の頃にトラウマを植え付けられた御茶漬海苔のホラー漫画を読み返したのですが、めちゃくちゃ面白かったです。他に好きな作家には楳図かずお、三浦建太郎、けらえいこ、岩明均、柴田亜美、藤岡拓太郎、ゆうきまきみなどがいます。挙げるとキリがないです。

ゲームはセガのハードを嗜んでいました。昔、岡山と香川で放送されていたメガドライブの番組の影響かもしれません。

ドラマは昔ほど見なくなりましたが、坂本裕二脚本の作品は必ず見えています。映画はホラーとコメディを好んで見ます。CGを使っていない映画の方が好きです。

好きな映画や監督、俳優を挙げるとこれもキリがないのですが、邦画なら『川の底からこんにちは』、洋画なら『ナポレオン・ダイナマイト』でしょうか。毎年夏になると『ヒルズ・ハブ・アイズ』を無性に観たくなります。オススメです。（片岡）

くじらっこ

今年度4月から正式に「くじらっこ」配属になりました。佐藤まつりです。よろしくお願いします。

少し好きなもの話をさせてください。私は結構多趣味で興味のあることや好きなことが複数あります。お笑い芸人やバラエティを観ること、K-popの音楽や韓国ドラマ、カフェ巡り、家でごろごろすること、アニメ・漫画観賞など。

最近特にしていることは、お笑いライブを観に行くことです。私の特に好きな芸人は、NONSTYLE、ナイチンゲールダンス、金の国です！お笑いライブはお値段もお財布に優しいものが多く、充実した公演を観られて心が満たされるので、最高の娯楽となっております。

私は、これから行われるNONSTYLEのツアーライブに参加予定です。楽しみが待っているので、そのためにも仕事頑張っていきたいと思います！（佐藤）



はじめまして！

サービス休止のお知らせ

10月6日(日)

職員全体研修のため

お休みいたします。

ご迷惑をおかけいたします。



★イベント報告★

5月25日(土) アメリカンキルトにふれよう

講師に望月さん、小野さんを迎えてアメリカンキルト教室を開催しました。

参加者7名 和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。

親子で講師、緊張しましたが皆さん楽しんでくれて何よりでした。

ただ細長く切られた色々な模様の生地の中から思い思いの生地を見つけて縫っていく作業でしたが、これがいいかな？こっちな？と色合いなどのアドバイス。思った以上に熱いワークショップとなりました。



作業風景

できたキルトをトートバッグに縫い付けました♪



6月14日(金)15日(土) くじら工房展覧会



ハーブの音色にみんなうっとり…

初めて工房を会場にした展覧会でしたが、両日ともに沢山の方にご来場いただきました。

14日金曜日はメンバーの通所日に開催しました。そのためアトリエ活動の様子を見ていただいたり、メンバーが接客したりすることができました。

15日土曜日はハーブ演奏と絵本の朗読イベントを行いました。このイベントは、普段から月に一度、工房のみんなが楽しみにしている活動と同じものです。超満員の大盛況となりました。

改めてお越しくださった地域の皆様、ご家族の皆様ありがとうございます！

また、展覧会開催にご協力くださったアトリエ講師の敦子さん、ハーブ演奏をしてくださった矢内さんに心より感謝申し上げます。

5月26日(日) わっしょいまつり

5月26日(日)青柳わっしょい祭りを開催しました。

3年ぶりの開催で不安もありましたが、当日はたくさんのお客様にご来場いただき、ありがとうございました。

かき氷にわたあめ、ゲーム、自主製品の販売やバザーなど、それぞれのコーナーは大盛況で笑顔が溢れ、入居者や職員も地域の皆様と楽しい時間を共有することができました。

久しぶりの開催で反省点も多くありましたが来年も地域との繋がり、根底にある思いを大切に、より良いお祭りしていきたいと思えます。



7月6日(土) YMCA 夏まつり

YMCA 医療福祉専門学校の夏祭りにかいうも参加しました。事業所紹介の展示、工房の生製品の販売、ゲームコーナーなどを用意しました。

今年は特に、学校の先生から「学生さんと沢山交流してほしい」という思いを伝えられていました。学生さんは準備や店番のサポートをしてくださり、例年以上に交流することができました。

私は学生さんとの交流を通して、初心に戻り、改めて前向きに仕事に取り組めるようになりました。学生さんにとっても、この日のことが少しでもお役に立てれば嬉しいです。



七夕コーナーも作り、
短冊に願い事を書いて
もらいました☆

コロナ禍で中止となっていたイベントが少しずつ復活してきて、かいうも近隣のイベントに参加したり、地域に向けたイベントを開催することも増えてきました。今後も「地域で自分らしく生きる」かいうもを様々な方法で発信していきたいと思えます！（広報・地域交流委員会）

見てね！
くじら工房 Instagram



相談支援エプシロン

ダーニング刺繍

エプシロンでは、サービス等利用計画に基づいて、半年毎、3ヶ月毎、毎月など、それぞれの利用者さんに必要な頻度でモニタリング報告書を作成しています。その際、利用者さんご本人やご家族だけでなく、ご利用されている事業所からも聞き取りをしたり、生活や仕事、活動の様子を伺う為事業所を訪問したりします。

モニタリングのときに、ある就労継続支援 A 型の事業所の方から聞いた「ダーニング刺繍」。その事業所ではオリジナルの手作り品を販売しているのですが、新しいことにどんどん挑戦され、新しい作品を生み出されています。そのひとつが、ダーニング刺繍でした。

ダーニングとは、擦り切れたり穴が開いたりした衣類を補修する、イギリス発祥の修繕方法。あえてカラフルな糸を使うことで、インパクトのある刺繍や模様を作ることができます。



段々と上達してきました！



古くなった衣類を刺繍で生まれ変わらせることができるなんておもしろいし、何せかわいい。不器用な自分もどうしても刺繍をしてみたくて、ネットで調べて本を購入し、更に初めての眼鏡も作ってしまいました。

ちょうどいいタイミングで、息子のお気に入りのパジャマのズボンに穴が開きました。これは絶好のチャンスと、カラフルな色が好きな息子が選んだ糸を使って、初心者の方でもできそうな柄を選んで挑戦…したつもりでしたが、不器用な私には至難の業。ですが、とても素敵な作品を作っている利用者さん方と事業所の方の作業の様子を思い浮かべ、地道に自分のペースで近づきたいと思いながら、ゆっくりと針を動かしています。(吉埜)

メゾン・ド・歩人



歩人入居者の波多野夏紀さんが約4か月半の入院生活を終えて歩人に帰ってきました。本当に頑張りました。お帰り、これからもよろしく。2024. 2月末に大腿骨頸部骨折をし、3月1日に人口股関節を入れる手術をしました。その後リハビリのために転院をし、7月中旬に歩人に帰ってきました。

「美術の祭典・東京展」の「絵本の部屋」というコーナーに、かいゆうだよりで連載中「もめんのように」作者ポニー水上さんの作品「お父さん」が展示されます！

昭和の親父を幼き頃のポニーさんが俯瞰で見たままを表現された1冊です。なんとも言えないユーモアに溢れています。ぜひご来場ください。

日時 2024年10月8日(火)～

10月14日(月)

場所 東京都美術館